

墨田区(東京都)の一体的実施

平成24年2月1日事業開始

区役所庁舎内に「就職支援コーナーすみだ」を開設し、区とハローワークによる生活保護受給者、住宅手当受給者等に対する一体的支援等を効果的・効率的に実施

区

福祉サービス、相談の実施等



国

職業紹介・職業相談の実施等

① 事業内容

・生活保護受給者、住宅手当受給者、就職困難者及び生活困窮者に対する支援

② 協定・事業計画

- ・墨田区長、東京労働局長及び墨田公共職業安定所長の間で協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を墨田区、東京労働局及び墨田公共職業安定所の間で策定

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定

③ 運営協議会

- ・墨田区職員、東京労働局職員及びハローワーク墨田職員をメンバーとする運営協議会を設置(墨田区長が会長)

福祉担当課が入居する庁舎に就職支援コーナーすみだを設置。身近な区役所で、国の職員が、即時の職業紹介と予約制・担当者制を組み合わせつつ対応し、福祉から就労までの一体的支援等を実現。

(1) 実施体制

区

- ・生活経済課 求職相談員(コーナー常駐) 1名
- ・保護課 就労支援員 2名
- 母子自立支援員 1名
- ・厚生課 住宅手当相談員 3名

国

- ・墨田公共職業安定所職員 1名
- ・就職支援ナビゲーター 2名
- ・職業相談員 1名
- ・求人情報提供端末3台、職業紹介端末2台を配置

(2) 事業目標と取組状況

	24年度事業目標	取組状況(24年9月末時点)
就労支援	生活保護受給者等に対する就労支援を月12人以上実施する。	生活保護受給者等の支援対象者 4月 <u>20人</u> 6月 <u>12人</u> 8月 <u>11人</u> 5月 <u>18人</u> 7月 <u>15人</u> 9月 <u>10人</u>
	(参考)23年度目標(23年2~3月) 生活保護受給者等に対する就労支援を月12人以上実施	(参考)23年度実績(23年2~3月) 2月 15人 3月 12人
就職率	就労支援の対象とし、支援プランを策定した者の就職率 ・60%以上	支援対象者数 86人 就職件数 65件 就職率 <u>75.6%</u>
	(参考)23年度目標(23年2~3月) 就労支援の対象とし、支援プランを策定した者の就職率60%以上	(参考)23年度実績(23年2~3月) 100%(※)

「就職支援コーナーすみだ」の開設について



墨田区では、これまでも、ハローワーク墨田と連携して様々な就労支援事業を展開してきましたが、このほど、東京労働局を加えた三者の協定に基づき、平成24年2月1日に「就職支援コーナーすみだ」を本区の庁舎一階に開設いたしました。

このコーナーは、「福祉から就労へ」との考え方にに基づき、区と国が直接連携して一体的に事業運営することにより、支援対象者の早期就職につなげていこうとするものです。

こうした取組みが更に大きな成果をあげるためには、一体的事業のメリットを最大限に活用して、各機関が持つ専門的なノウハウをもとに、一人一人の対象者に合った支援に結び付けていくことが重要となります。

さて、現在本区では、本年5月の東京スカイツリー開業を機に、ものづくりと観光が融合した「国際観光都市すみだ」づくりの取組みを進めております。

そして、それらによって生じる経済波及効果を更に多くの雇用につなげていくことも、地域の活性化に向けた重要な取組みであると考えております。

今後も、ハローワークとの連携を強め、より一層就労支援に力を入れてまいります。

墨田区長 山崎 昇

一体的実施事業による就職成功例

男性：49歳 希望職種：運転業務又はキッチンスタッフ

○ 本人の状況・背景

父子家庭であり、子供養育のため短時間労働をしていたが、収入が少なく、貯蓄も底を尽き、生活保護に至る。

① 抱える課題 外国籍、小学生の子供がいる父子家庭（日中勤務希望）、日本語の読み書きが出来ず、日常会話可のみの外国人受け入れ可能な企業を探すのも困難。

② 支援内容・ポイント・経過

ハローワークの就職支援ナビゲーターによる個別支援を実施。希望職種である運転業務はコミュニケーション能力と運送にかかる伝票処理等ができないため不調。本人の就労意欲が非常に高く、第二希望であるキッチンスタッフの求人を探す。希望条件に近い求人をあっせん。応募書類作成、面接時の注意事項について説明するとともに、求人企業へ対象者の状況を説明。応募可の返事をもらう。

③ 結果

- ・調理補助にパートで採用
- ※支援期間 3カ月

○ 就職支援ナビゲーターの所感

日本語の読み書きができず、子育ての関係で就労時間が限られてしまうとといった制約の中で、求人選択に苦慮したが、求人企業へ説明するとともに、本人には面接時の注意点を丁寧に指導し、希望条件に近い就職を実現できた。

○ 本人のコメント

相談期間も長くなり、焦ってはいたが、ナビゲーターがいろいろと支えてくれて、落ち着いて面接が受けられた。感謝している。

男性：16歳 希望職種：未定

○ 本人の状況・背景

母子家庭として生活保護を受給。

① 抱える課題 母子家庭、学歴：中卒、就労経験無し。職業知識、希望する仕事無し。初回面談では殆ど自分の意見を言わず。

② 支援内容・ポイント・経過

ハローワークの就職支援ナビゲーターによる継続的な個別支援。職業のイメージ形成及び適職判断のため適職診断を実施。情報処理に興味があるとの診断結果から職業訓練受講を検討したが、勉強について行く自信がないとのことから、製造（ものづくり）の仕事を説明。

本人も興味を持ち、意欲を示したため、求人を提供。面接対策を実施。

③ 結果

- ・ゴム製品成型工に契約社員で採用
- ※支援期間 1カ月

○ 就職支援ナビゲーターの所感

就職決定までは自己表現が不得意（殆ど出来なかった）であったが、内定をもらったと挨拶に来所した時には、はっきりとした口調で話もでき、社会人としての自覚と自信ができてきた。

○ 本人のコメント

相談を始めた頃は自分がどんな仕事に向いているのか、適性も分からなかったが、適職診断や相談を通じて短期間のうちに方向が見えてきた。今は、仕事を覚えている段階ですが、長く続けて行きたい。

一体的実施事業による就職成功例

男性：63歳 希望職種：介護、デイサービス送迎

○ 本人の状況・背景

親戚の食堂勤務するも廃業のため退職。その後体調不良による収入の減少から生活保護申請。

① 抱える課題

体調不良、仕事のブランクが長い、ヘルパー資格はあるが未経験。

② 支援内容・ポイント・経過

本人は調理師の資格も持っていたため、介護職と併せて、調理経験を活かせる求人を選択。まだフルタイム、夜勤に対応は難しいと判断し、パート求人を提供。

過去の職務内容を整理し、本人の希望と就職可能性を考慮し調理での就職を指導。目標が定まると本人の意欲も向上したため、その後は、応募書類作成、面接対策に重点を置いた。

③ 結果

・調理補助にパートで採用

※支援期間 2カ月

○ 就職支援ナビゲーターの所感

ブランクはあったが、資格、経験がある職種を中心に求人の的を絞った支援が効果的であった。相談過程での本人の意欲が向上したことも良い結果に結びついた大きな要因である。

○ 本人のコメント

普段の生活では、仕事のことなどについて、相談できる人がいなかった。このコーナーでナビゲーターの方と相談でき、自分のやりたいことやこれからの方向性がわかったことが良かった。

女性：48歳 希望職種：調理、軽作業

○ 本人の状況・背景

離婚後清掃等の仕事をし、一人でギリギリの生活をしてきたが、体調を崩し収入が激減。生活保護を受けるに至った。

① 抱える課題

DVの体験から精神の疾患の診断を受ける。年齢による体調不良もあり、最初から長時間の勤務は困難。

② 支援内容・ポイント・経過

体調不良により、相談キャンセルも何度かあったが、本人のペースを重視して、個別支援を実施。電車通勤も苦手であることから、近隣の求人を選択。体調管理に注意しながらも、就職後のことを考え、予定した日時での相談を指導。徐々に体調も回復の兆しがあったため、具体的な応募に向け準備を進めた。経験した仕事から調理職での応募が有効と判断。

③ 結果

・調理補助にパートで採用

※支援期間 1カ月

○ 就職支援ナビゲーターの所感

体調不良を訴えていたため、焦らず本人のペースで支援を進めてきた。短時間であるが、就労により本人の生活のサイクルが安定してくれればと思っている。

○ 本人のコメント

就職活動は一人では不安なことが多く、ナビゲーターの方が、親身に寄り添って相談をしてくれたので、働く気力もわいて就職できた。今後は徐々に時間を増やしていきたい。